

みはら通信

災害を経験して

あれほどの停電… 多くの人にとって初めての経験だったのではないのでしょうか。

そんな中「水とガスが使えたから何とかなったわー」との声が多数聞こえました。

記事の内容はあくまで今回の結果であり、次回を約束できるものではないことをご了承ください。また、被災地の方々、避難生活が続いている方には謹んでお見舞い申し上げます。

ガスメーターは・・・

- ・震度5相当以上で感震自動遮断します
- ・配管の損傷などにより多量のガスが流れた場合、自動的に遮断します



使用量を計るだけのものではありません。24時間365日の見守り役です。

震度4の奈井江町では（今回に関しては）ほぼ全てのご家庭でいつも通りに使用できました。

使えたもの



○ガスコンロ

調理はもちろん、生活最低限のお湯を沸かすことができました。最近のちょっといいコンロには炊飯機能が当たり前についているので、ご飯を炊くこともできました。（ちなみに我が家は普段からコンロ炊飯です）

○ガス炊飯器

普通に使えました。ですが、多機能な機種はコンセント式になるので、使用できませんでした。



○小型給湯器

安価で簡易的な給湯器の位置づけですが、電池式のため普通に使うことができました。



使えなかったもの



×大型給湯器
コンセント式なので使用できませんでした。



この電源供給も可能でした

数年前に買って、ずーっと倉庫で眠っていたガス発電機が役に立ちました。

発電機といえば石油類を使うものの方がメジャーですが、こちらのメリットは燃料となるLPガス自体の経年劣化を気にする必要がないこと。燃焼臭もありません。

また、イザというときは軒下に設置されているボンベからガスをもらうことができます。

「一家に一台」とは言いにくい値段ですが、さっそく品薄になっているようです。

今回の一番の不幸中の幸いはきっと、寒い時期ではなかったこと。それを含めると、考えるべきことはまだまだありそうです。

気にしすぎるのもアレですが、次に活かせるだけの教訓にはしたい経験でした。



今月の純ちゃん

いよいよ本格的な秋の到来ですね。
朝夕と日中の気温差に風邪などひかめ
ようご自愛下さい

純ちゃんのコーナーで度々掲載させていただく「懐かしい昭和」のシリーズですが、今月は懐かしい景色をお届けします。

昭和の匂い漂う風景は、行った事がなくても情景として共感できるものですね。

全て白黒写真ですが、楽しんでいただけたら幸いです。



写真は全て某市の駅前。昭和20〜30年代のもので、繁華街が砂利道なんてあたり前の時代でしたね。



子供たちが遊ぶ姿も昭和の欠かせない風景ですね



子供盆踊り
皆が参加しましたね



脚光浴びまくってますね。

テレビじゃよくわからないけど、
180cmあるそうです。
デカイ。



アメリカ人のお父さんと、根室市出身の「大阪さん」というお母さんを持つなおりさん。名前とは全く関係ないんでしょうが、大阪産まれだそうです。

バッシバシ決まるサーブが気になるのですが、
最速が201km/h。バッティングセンターの
130km/hでさえ相当速いのに・・・。
きっと一般人ではカスリもしないんでしょうね。

そしてこのサーブスピードが女子の歴代10位つてのが驚きです。歴代1位は220km/h。男子に至っては263km/h。あと少しで新幹線です。もう、意味がわかりません。

今後も明るいニュースを持ってきてくれることを願います。

でもそう考えると新幹線って速いですね...



諭吉の旅日記

地味に固定ファンがいてくれて、諭吉の写真を載せなさいとのお声もいただくので、今回は何でもない日常を・・・



ごはんをもらう直前。

成績が伸びる子の授業姿勢のパンフレットか何かに使ってもらいたいくらいの真剣さです。



散歩の帰り道
まだ帰らないアピール
なのか紐をかじります



同じ道を引き返してるわけでもないのに帰路なのかわかるのが不思議です。

